

平成 26 年 2 月 10 日

各 位

会社名 株式会社グローバルダイニング
 代表者名 代表取締役社長 長谷川 耕造
 (コード番号 7625 東証第二部)
 問合せ先 財務経理グループ 中尾 慎太郎
 グループリーダー
 T E L : 03-5469-3222

特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 12 月期において、下記のとおり特別損失を計上する見込みとなりました。あわせて、平成 25 年 7 月 30 日に公表いたしました平成 25 年 12 月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 特別損失の内容

収益改善の見込めない店舗の閉店等のため、既に計上済のものに加え、弊社所有の事業用資産について、収益性の低下により減損の兆候が認められたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失 153 百万円を計上いたします。以上により通期の特別損失は、206 百万円を計上する見込みとなりました。

2. 平成 25 年 12 月期（連結）通期業績予想の修正

（平成 25 年 1 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	11,208	253	276	528	52 円 57 銭
今回修正 (B)	10,932	170	234	385	38 円 36 銭
増減額 (B-A)	△276	△83	△41	△142	—
増減率 (%)	△2.5	△33.0	△15.0	△27.0	—
(参考) 前期実績 (平成 24 年 12 月期)	11,813	△53	△35	△191	△19 円 07 銭

【修正の理由】

国内については、売上高の伸びが鈍く推移し計画未達成でなり、また経費率も若干の悪化となり利益につきましても当初計画を下回る予想となっております。海外については、材料費率は改善が進んだものの売上高が計画未達成で推移し、その他の経費率も悪化したため利益につきましても計画を下振れする予想となっております。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上